

No	提 案 名	提案団体名	
		代表者氏名	所 属
7	子どもの安全のための子育てミシュラン	宇都宮大学 子ども班	
		村上 遥香	宇都宮大学 工学部
		指導教員 氏 名	糸井川 高穂

1 提案の要旨

待機児童を削減するために、保育園等の増設が進められているが、同時に保育の質（特に安全について）の低下が懸念されている。

保育園等の増設に伴い、保育士は不足し、規制緩和による経験の浅い保育士が増加している。しかし、保育士の不足は安全への配慮の目の不足に繋がり、経験の浅い保育士の増加は危険に気づかない可能性の増加につながる。安全に関する経験値の不足を補えることができれば、保育の増設に向けた課題の一つを解決することができる。

本提案では、安全に関する経験値の不足を補うために、安全に関する視点を増やし、共有することを提案する。また、民間企業からは、安全管理のアイデアや、保育の安全向上に向けた寄付金を募ることを提案する。

保育士だけでなく、園児の保護者や保育園の近隣住民から、安全に関する課題や解決策、優れた取り組みの例を市役所が収集して取りまとめることで、保育の安全のスパイラルアップ（継続的改善）を図ることができる。また、意見を収集することで所謂クレームが増える可能性はあるが、複数の園で共通して多発するクレームは、保育園に共通した課題であると捉えなおすことができる。民間企業からのアイデアは、保育の安全にとっては新たな視点となり得る。

2 提案の目標

保育の質を向上させることで、保護者は安心して子どもを保育園へ預けられ、子どもは安全な環境で過ごせるようにしたい。その第一歩として、子育てミシュランを提案する。

3 現状の分析と課題

現在、待機児童問題が全国的に起きており、これは宇都宮市も例外ではない。宇都宮市は現在の政策として保育施設を増やすことでこの問題に対応しようとしている。

今後少子高齢化が進行することで、働き手は減少し、それに伴い共働き世帯は増えていく。そして、それにより子どもを預けたい人が増えていくと考えられる。しかし、保育園への需要が高まり、保育士や保育施設を急激に増加させると保育の質の低下が懸念される。ひとつの保育園に対する経験の浅い保育士の割合が増えることにより子どもへのケアが疎かになり、安全面の質が低下する。

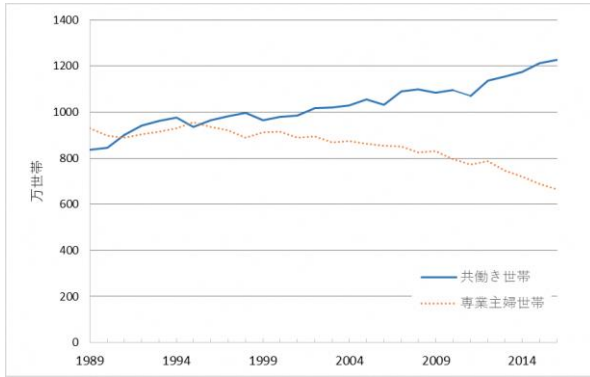


図1 共働き世帯の変移

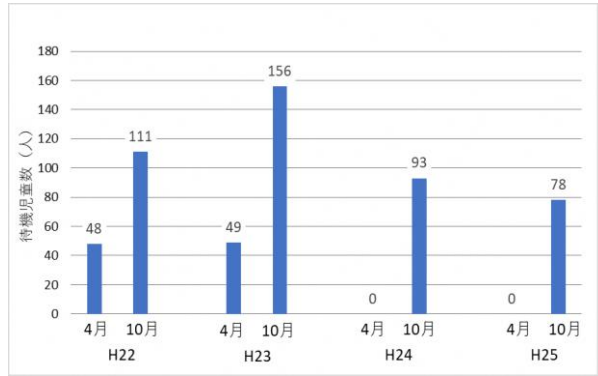


図2 待機児童数の変移

4 施策事業の提案

4-1 保護者アンケート

前項より保育施設の需要が高まることによって、保育の質が低下していくことが予想される。はじめに、保育園を利用する保護者は保育園を選ぶ際に何を重要としているかを把握する必要がある。そこで、宇都宮大学に関わる3つの保育園を対象にアンケートを行った。現在保育園を利用している約250世帯に保育園を選ぶ際、どのようなことを重要視したかについて4段階で評価してもらった。このアンケート結果から、保護者が最も重要視していることは「保育園の雰囲気」であった。

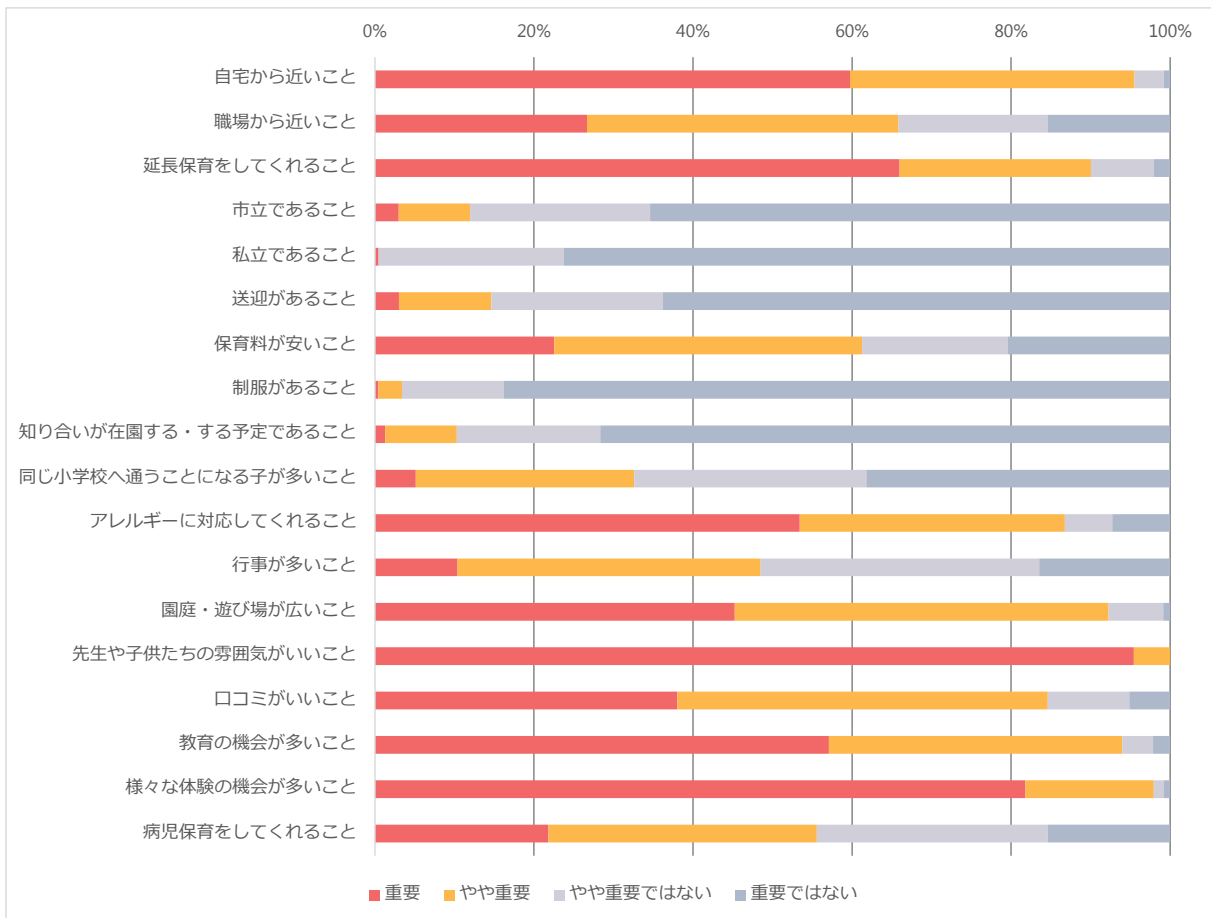


図3 アンケート結果

4-2 安心・安全

アメリカの心理学者マズローが提唱したマズローの欲求5段階によると、人間の欲求は5段階のピラミッドのように構成されていて、低階層の欲求が満たされることにより高次の階層の欲求を欲するとされる。このマズローの欲求5段階によると、安心や安全への欲求は低層に位置しており、人間はこの欲求が満たされて初めて自己実現などの成長への欲求が高まる。そこで、私たちは人間の最も基盤的な「安心・安全」に着目した。しかし、これから保育園を利用していく人たちはその保育園が安心・安全であるかを知る機会がない。その保育園が安全であるかどうかを最も理解しているのは、その保育園に子どもを預けたことのある保護者である。例えば、私たちが通販サイトで商品の購入を検討する際に、商品のレビューを参考にする。それと同様に、実際に利用している保護者の意見があると後の利用者が検討しやすくなる。そこで、保護者の口コミに基づいて安心・安全な雰囲気の評価する指標として「子育てミシュラン」を提案する。

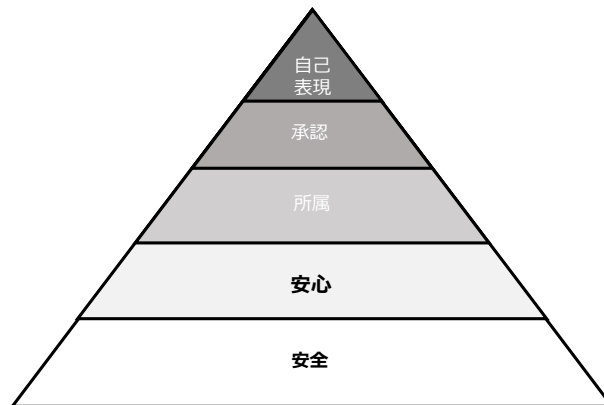


図4 マズローの欲求5段階

4-3 子育てミシュラン

子育てミシュランとは保育園を利用している保護者の意見が反映されるひとつの評価指標である。表2に子育てミシュランの詳細について示す。情報源を口コミとすることで外部の人間が現場のリアルを知ることができる。

現在、宇都宮市は保育園や幼稚園への第三者評価を行っている。しかし、保護者アンケートの結果より、保育園・幼稚園選択時に第三者評価を参考にした保護者は3割程度であった(図5)。中には、第三者評価が行われていることを知らない保護者もいた。第三者評価を行っているのは教育に従事した専門家ではあるが、実際にはその保育園を利用していない。よって、専門家の考えと保育園利用者の考えは違うため、実際に利用している人の口コミは有効であるといえる。

表2にISOや第三者評価などの評価の仕方と保護者による子育てミシュランの違いを示した。監査や第三者評価を行う際の情報源には書類調査と現地へ赴いての調査だが、子育てミシュランは実際に保育園を利用している保護者の口コミであるため、評価に保護者の体験が組み込まれる。

表2 子育てミシュラン

評価	保護者による 子育てミシュラン
監査者	保護者
情報源	現地 口コミ
内容	※2UX
	⇒ハード 保育環境(施設・備品)
	⇒ソフト ○子ども育成 (安全教育、子どもへの声かけ) ○保護者育成 (環境、親の行動子どもへの声かけ) ○情報共有 (ヒヤリハット、事故、再発防止)

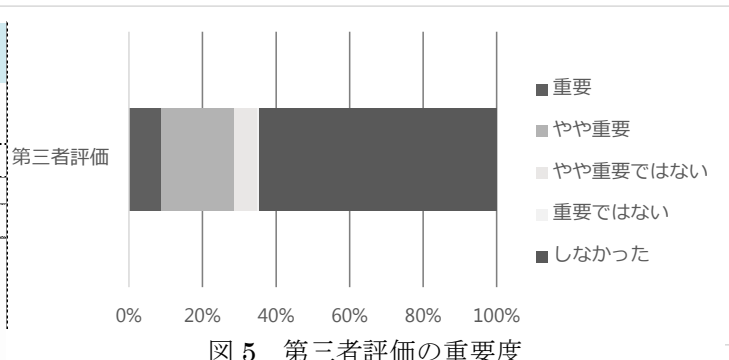


表3 評価詳細

評価	ISO	監査	第三者評価	保護者による 子育てミシュラン
監査者	有資格者	市役所	学識経験者 コンサル OB	保護者
情報源	書類 現地	書類 現地	書類 現地	現地 口コミ
内容	マネジメントシステム ⇒運営の※1PDCAサイクル ※1事業活動において、Plan(計画)-Do(実行)-Check(評価)-Act(改善)を繰り返すことで、 業務を継続的に改善する手法。 ※2User Experienceの略。ユーザーが製品・サービスを通じて得られる体験のこと。	法令・条例 ⇒最低限の質の確保	マネジメント ⇒設備、備品、運営	※2UX ⇒ハード 保育環境(施設・備品) ○子ども育成 (安全教育、子どもへの声かけ) ○保護者育成 (環境、親の行動子どもへの声かけ) ⇒ソフト ○情報共有 (ヒヤリハット、事故、再発防止)

保育園で実施したアンケートで、子育てミシュランで評価されている保育園があった場合に、それを重要視すると答えた人が8割を占めた。さらに、この子育てミシュランで評価されている保育園に民間企業から補助金を割り当てることについて一般の方を対象に街頭でアンケートを行った。保育園の利用の有無に関わらず無差別に街頭アンケートを行った結果、子育てミシュランで評価されている保育園と評価のない保育園で補助金の差をつけることに対し、9割以上の人が賛成と答えた。

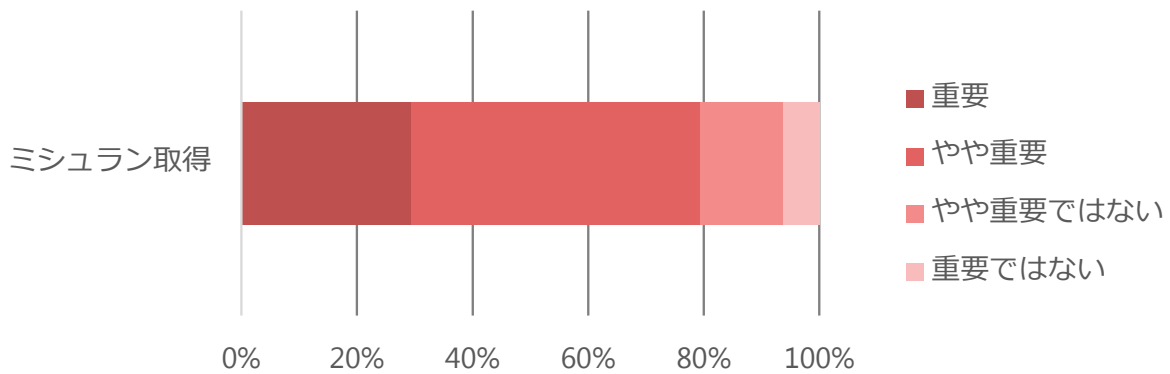


図6 ミシュラン取得時の補助金の賛否

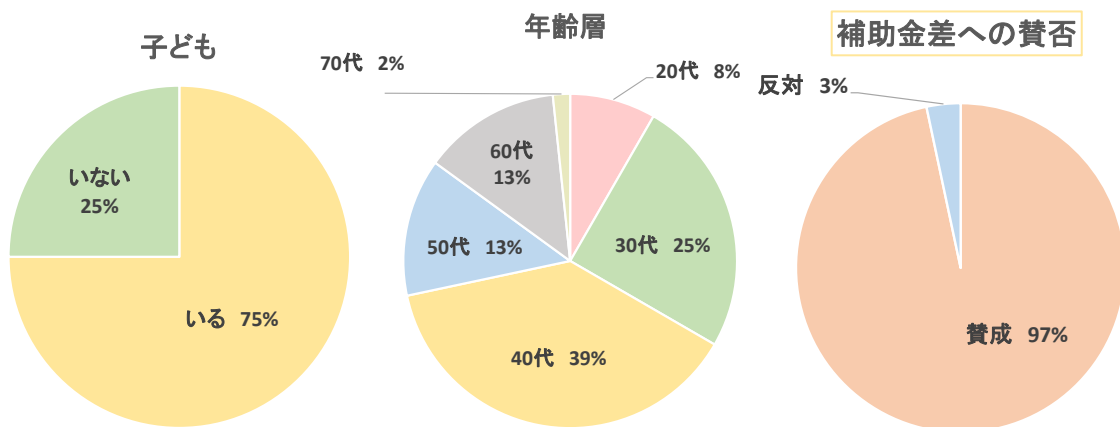


図7 街頭アンケート結果

4-4 将来展望

将来保育士が増えて待機児童がいなくなったとき、利用者が保育園を自主的に選択できるようになっている。しかし保育士が急増したために安全の質が低下してしまうおそれがある。そこで子育てミシュランを採用すると、自分の子どもをより安全な保育園に預けることができる。宇都宮市の未来を担う子どもたちがより安全な保育園に通い、さらなる宇都宮の発展に貢献してほしい。

○将来展望保育サイクル



